

科名

外科

外科-55(b)

対象疾患名 結腸・直腸癌(切除不能または再発)

プロトコール名 BEV+IRIS(TS-1+CPT11+BEV)(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	コメント	1	...	15	...	28
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ	3mg		↓		↓		
			アロカリス	235mg	30分かけて					
			デキサート注	9.9mg						
			又は							
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて					
			アロカリス	235mg						
			デキサート	9.9mg						
4	点滴注	側管	ベバシズマブ	5mg/Kg	医師の指示通り	↓		↓		
			生理食塩液	100mL						
5	点滴注	側管	カンプト注(CPT-11)	100mg/m ²	90分以上かけて	↓		↓		
			生理食塩液	500mL						
経口 TS-1 1回40~60mg/m ² を1日2回 d1~d14投与、d15~d28は休薬										

★1クール=28日、

~MEMO~

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2とday16にデカドロン錠を朝、昼食後に1回2mg(4錠)内服、

day3,4とday17,18にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

・TS-1は 14日間投与、14日間休薬

・TS-1は 体表面積(BSA)<1.25m²:40mg/回1.25m²≤BSA<1.5m²:50mg/回BSA≥1.5m²:60mg/回*1 CPT-11 100mg/m²を500mL以上の補液に混和し、90分以上かけて点滴静注

・ベバシズマブは生食で希釈。(薬効が落ちる)

・ベバシズマブは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で

行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。